



～ あなたの “ 歩く ” が、子どもを “ 守る ” ～

社会貢献を謳った
ウォーキング啓発アプリの開発と普及

- 企画の骨子

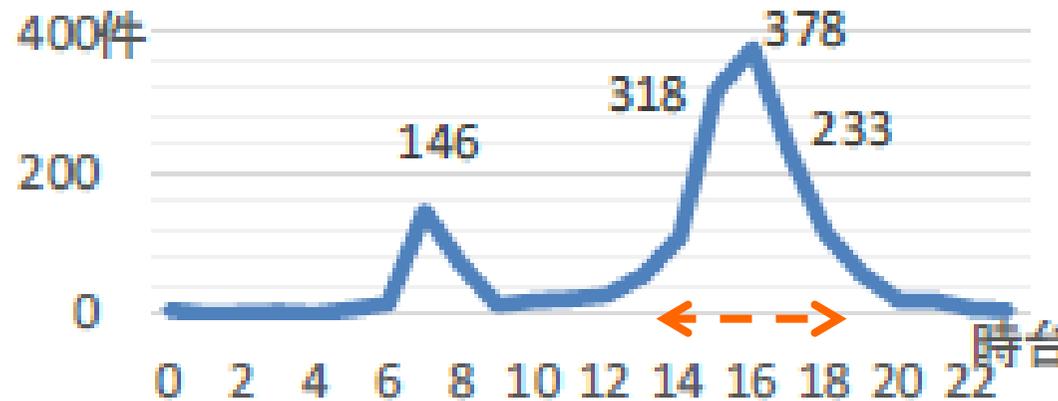
- スポーツと社会貢献を結び付け、スポーツ実施率の向上を図る



- きっかけ①

- 子どもの安全・安心を守りたい

- 子どもの被害は登下校、特に下校時（15時から18時）に集中



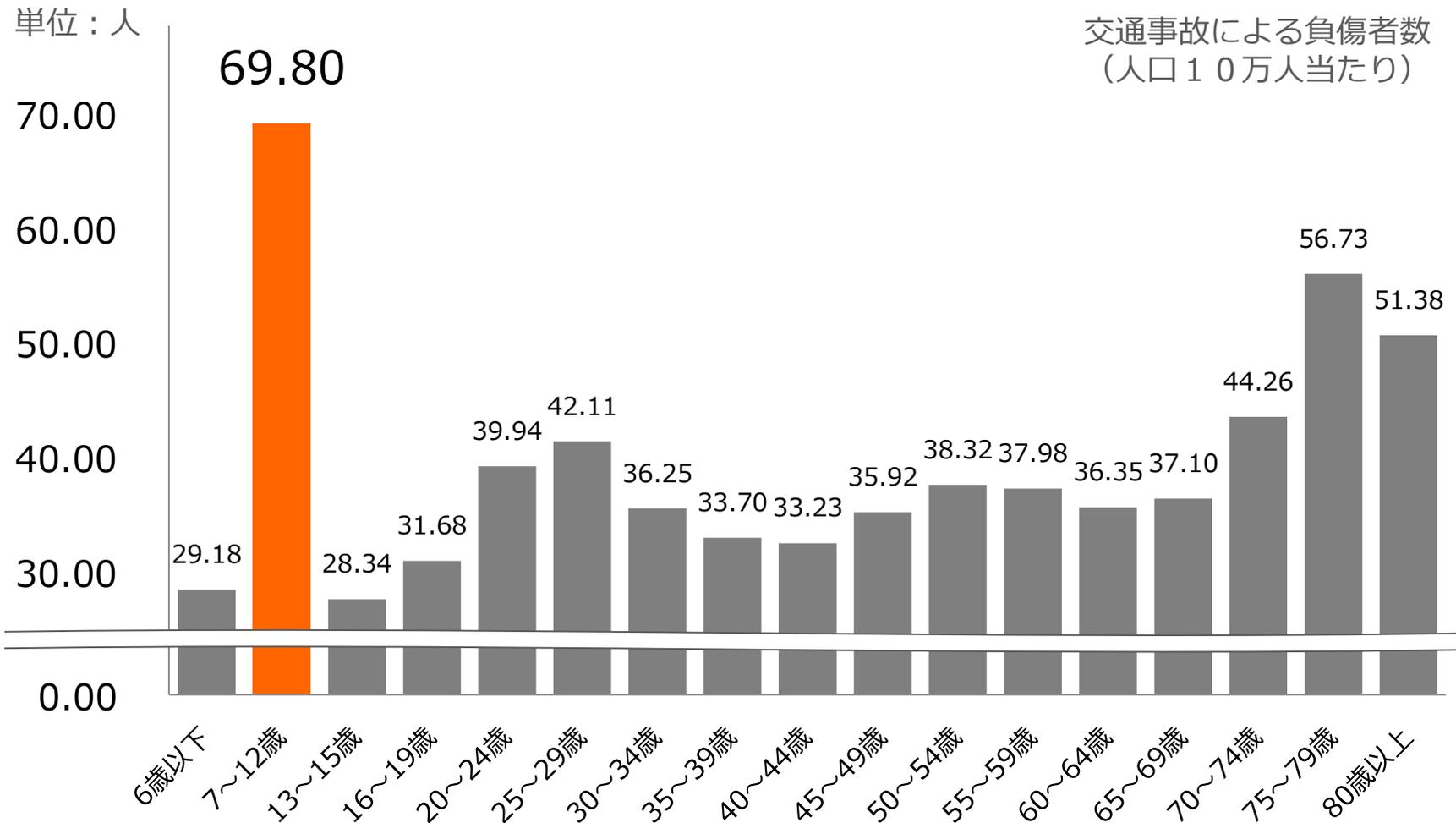
子ども(13歳未満)が被害者となる身体犯の発生状況
(土日除く。道路上での事案に限る)(H27~29累計)

- 既存の防犯ボランティアの高齢化、共働き家庭の増加
⇒ 「地域の目」が減少、「見守りの空白地帯」が生じている

※公表資料から引用・中段グラフを転載し、点線矢印を記載

● きっかけ②

- 7～12歳の交通事故による負傷者数（人口10万人当たり）は、全年齢層の中で最も多い



資料：警察庁「歩行者の年齢層別の交通事故死者数及び負傷者数」H29

願い

大人のウォーキングコースの一つに
小中学校の通学路を位置付けたい



※小学校19,892校／中学校10,270校
※設置者 国立141校／公立29,012校／私立1,009校

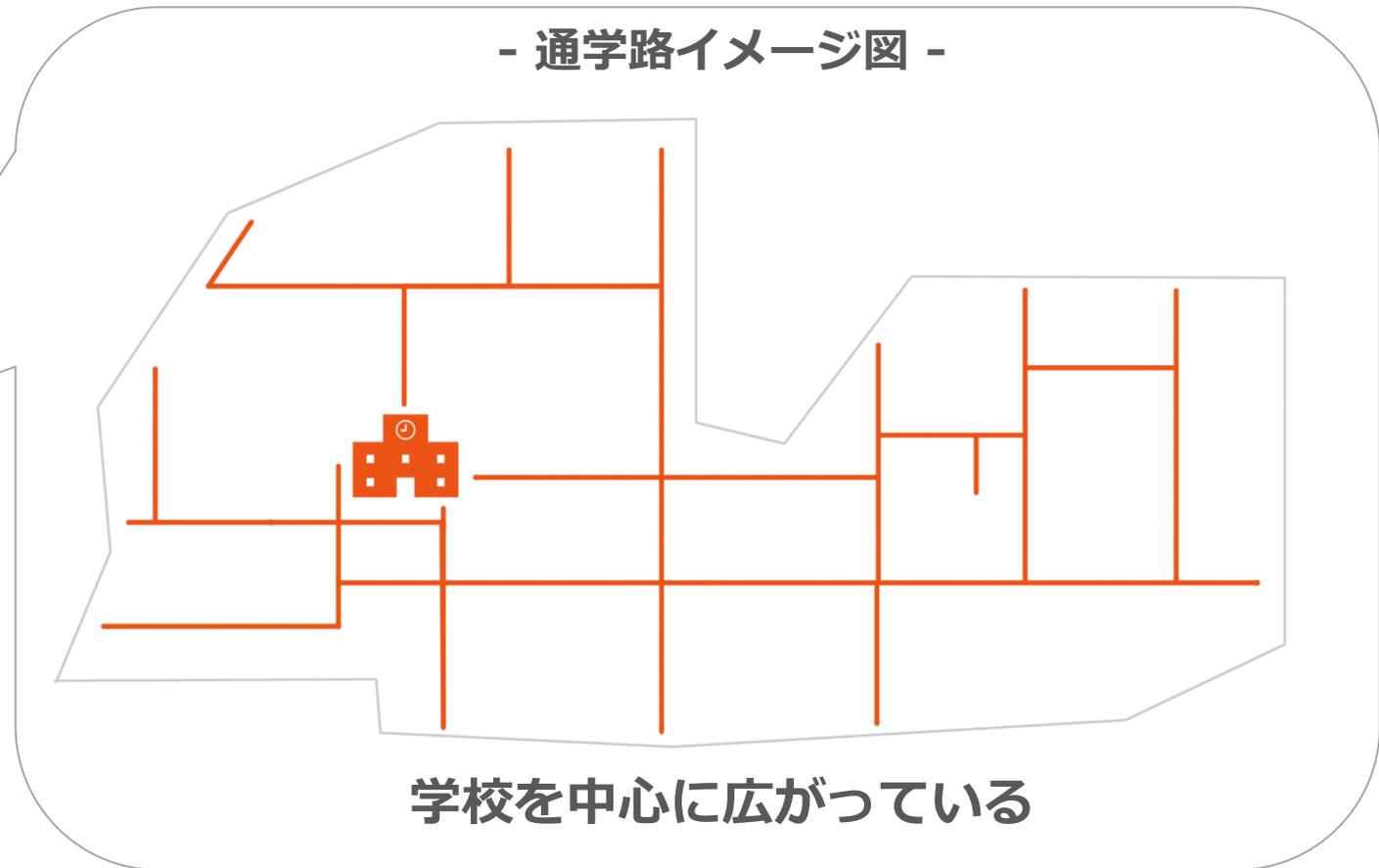
アイデア

小中学校の通学路を登録した
ウォーキングアプリの開発・普及



● 基本機能①

● アプリの地図上に、市内の通学路情報が表示される



- 児童・生徒が通学時に主として使用する道路
- 通学距離は、小学校がおおむね4 k m以内、中学校がおおむね6 k m以内

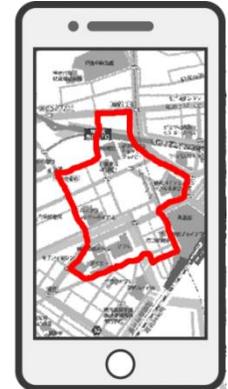
● 基本機能②

● ユーザーは、3種類の記録（ログ）を残すことができる

スポーツ

ウォーキング
ログ

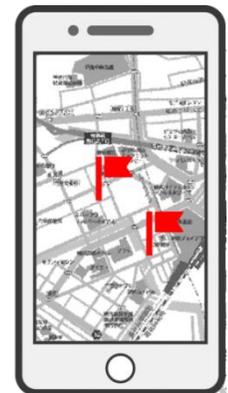
- 歩数のカウントや歩行距離、カロリー消費量、これまでのウォーキング実施状況
- ウォーキングしたコース（GPS機能）



社会貢献

みまもり
ログ

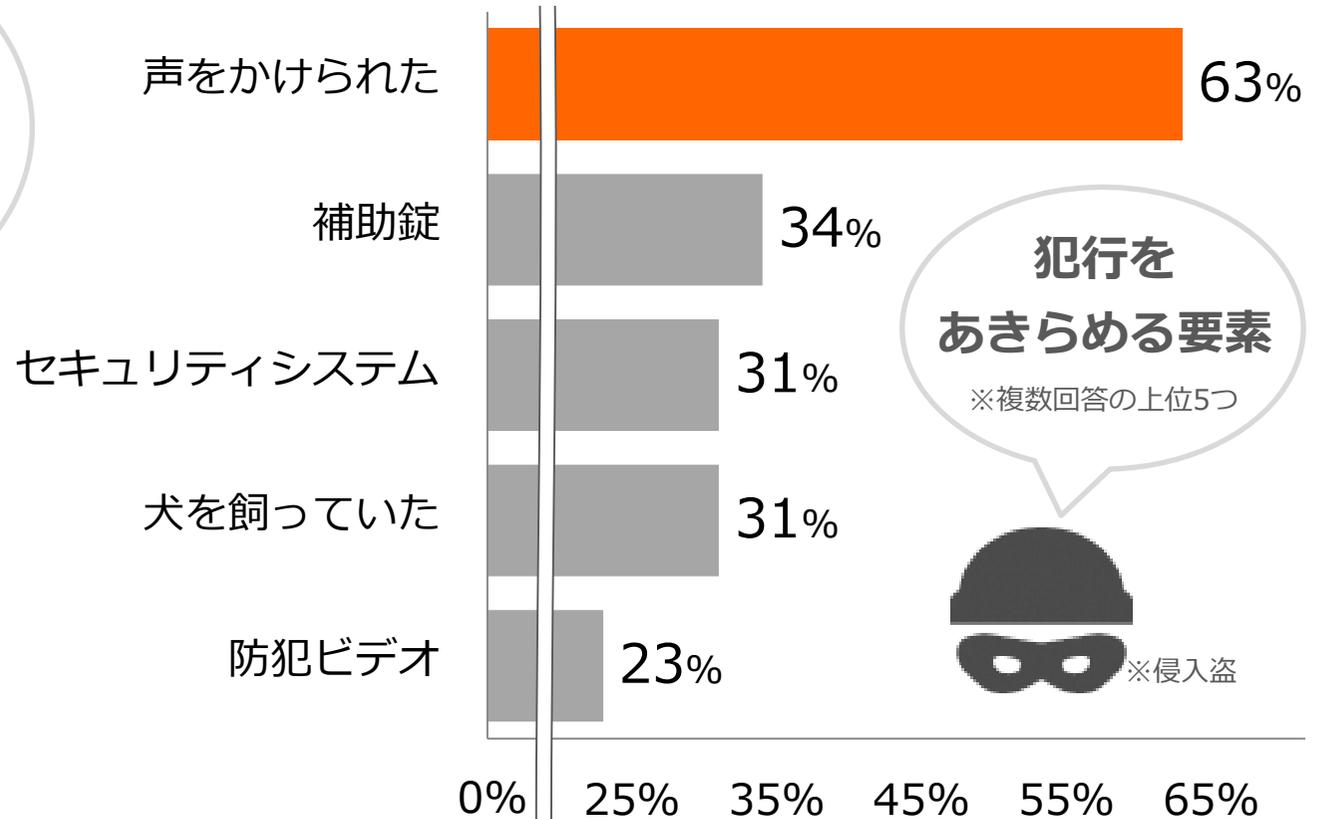
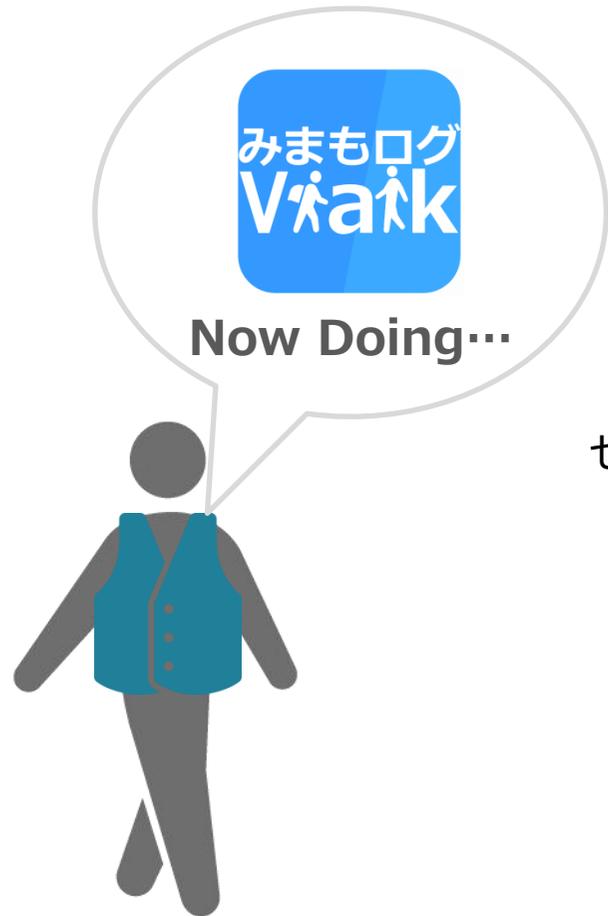
- ウォーキング中に見つけた危険と思われる箇所などの位置情報



きずな
ログ

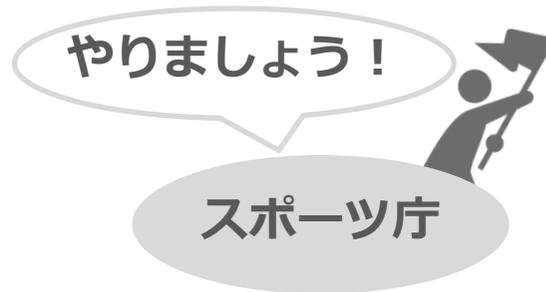
- 子どもに挨拶した回数

- ユーザー可視化
- 犯罪抑止や注意喚起の観点から、
人目をひくベストや帽子などを配付する

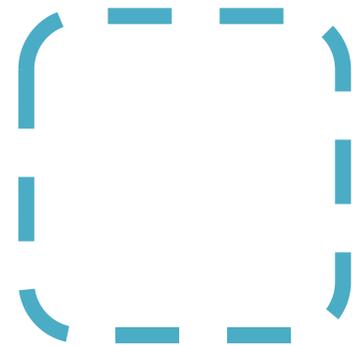


- 事業スキーム

- スポーツ庁がテンプレートを開発し、
希望する地方公共団体がアプリ化して普及・管理する



- みまもログ Walk
のテンプレート開発



地方公共団体の
開発コストを低減

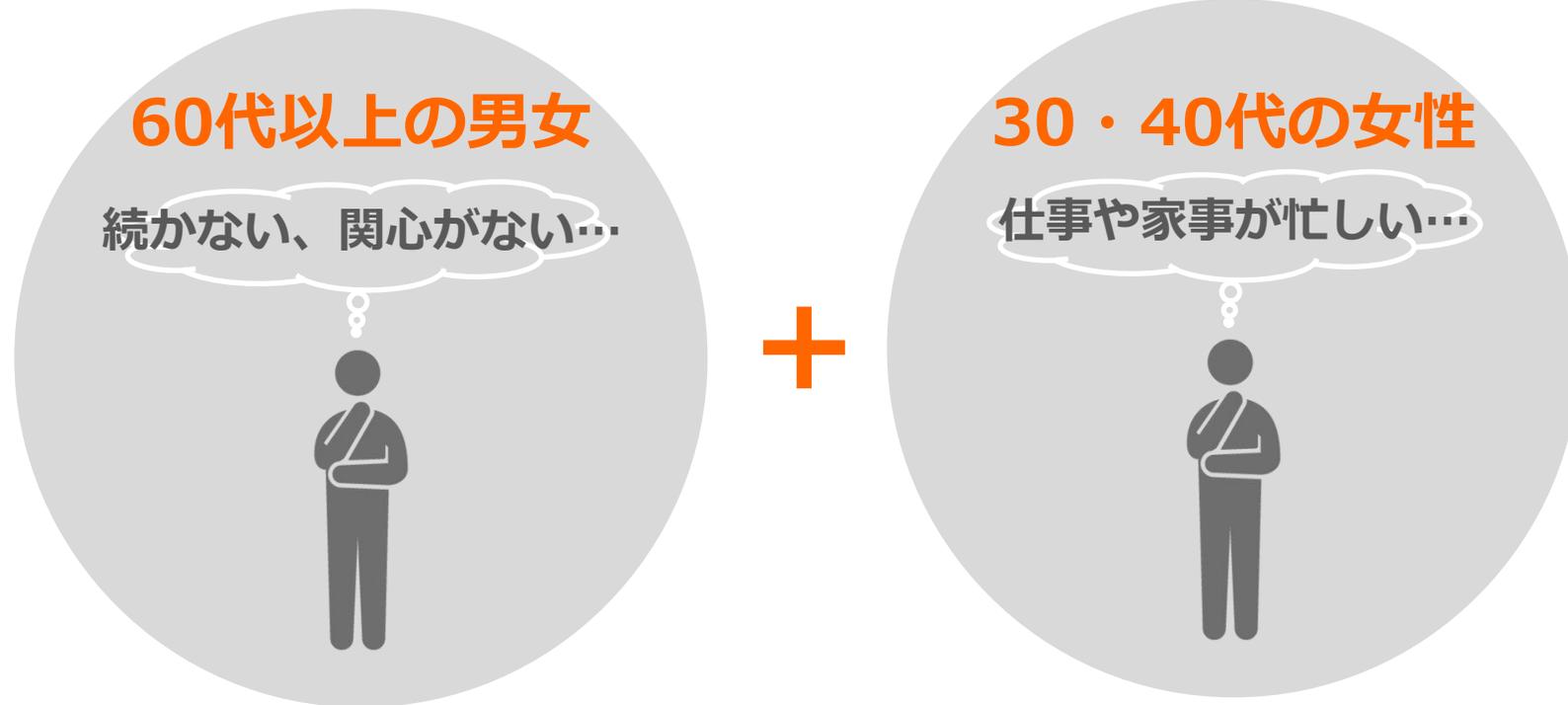


- 小中学校の通学路を
地図上に登録してアプリ化



国の後押しで導入促進
かつ低コスト

- ターゲット層の絞り込み
- 60代以上の男女と、スポーツ実施率が低い30・40代の女性

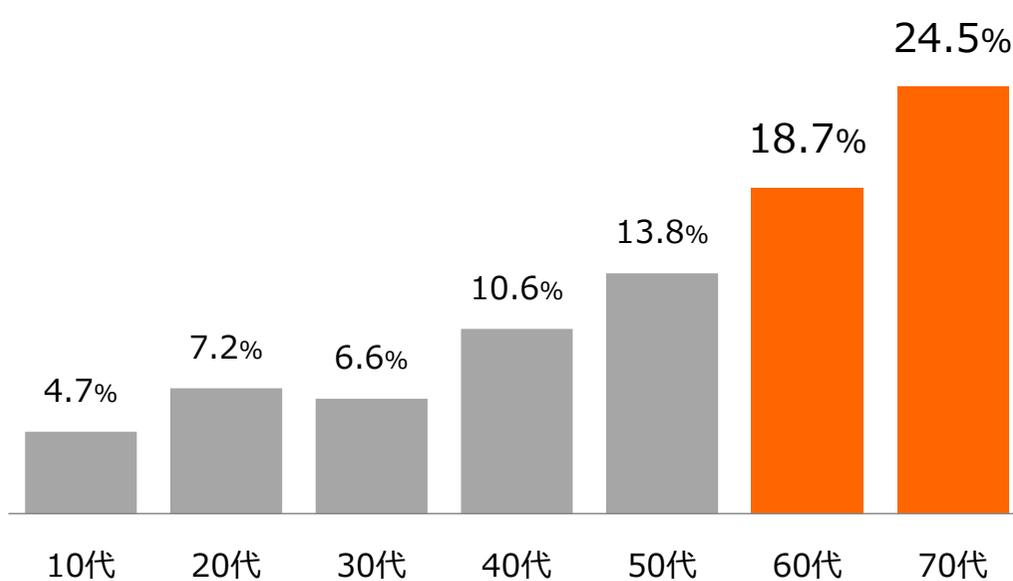


● 60代以上の男女にフォーカスする理由

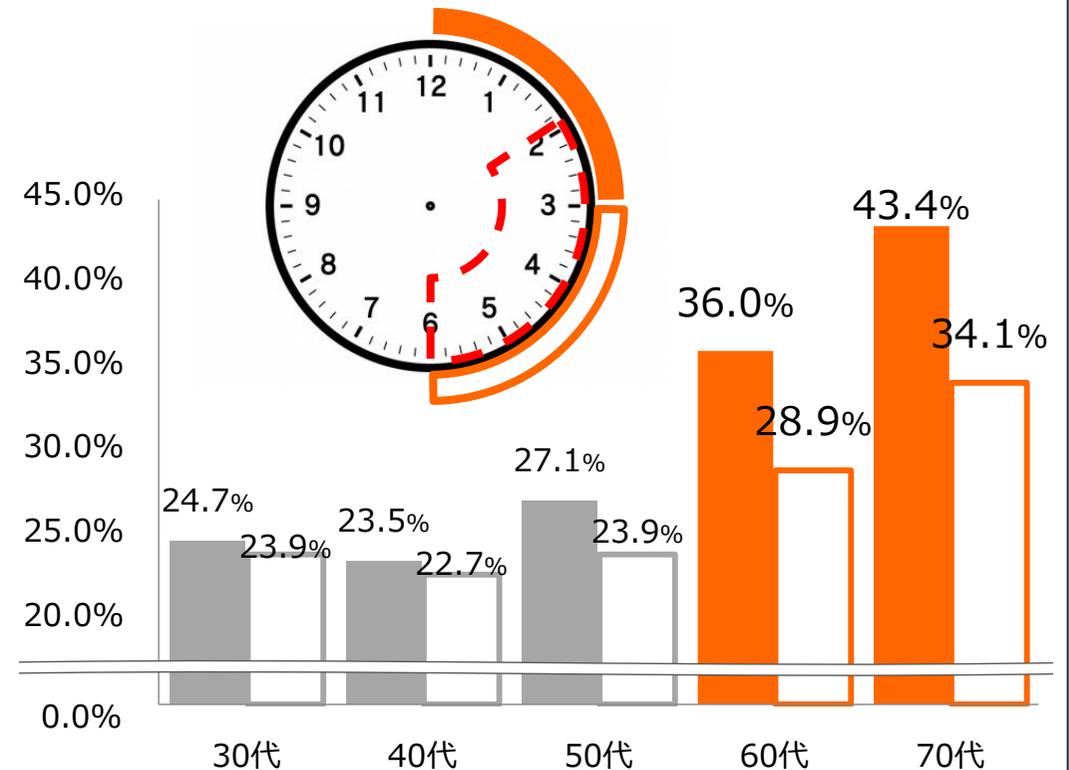
● スポーツの実施状況から、訴えれば響く

● 週1日以上、運動できなかった理由
「特に理由はない」

※もっとも大きな理由

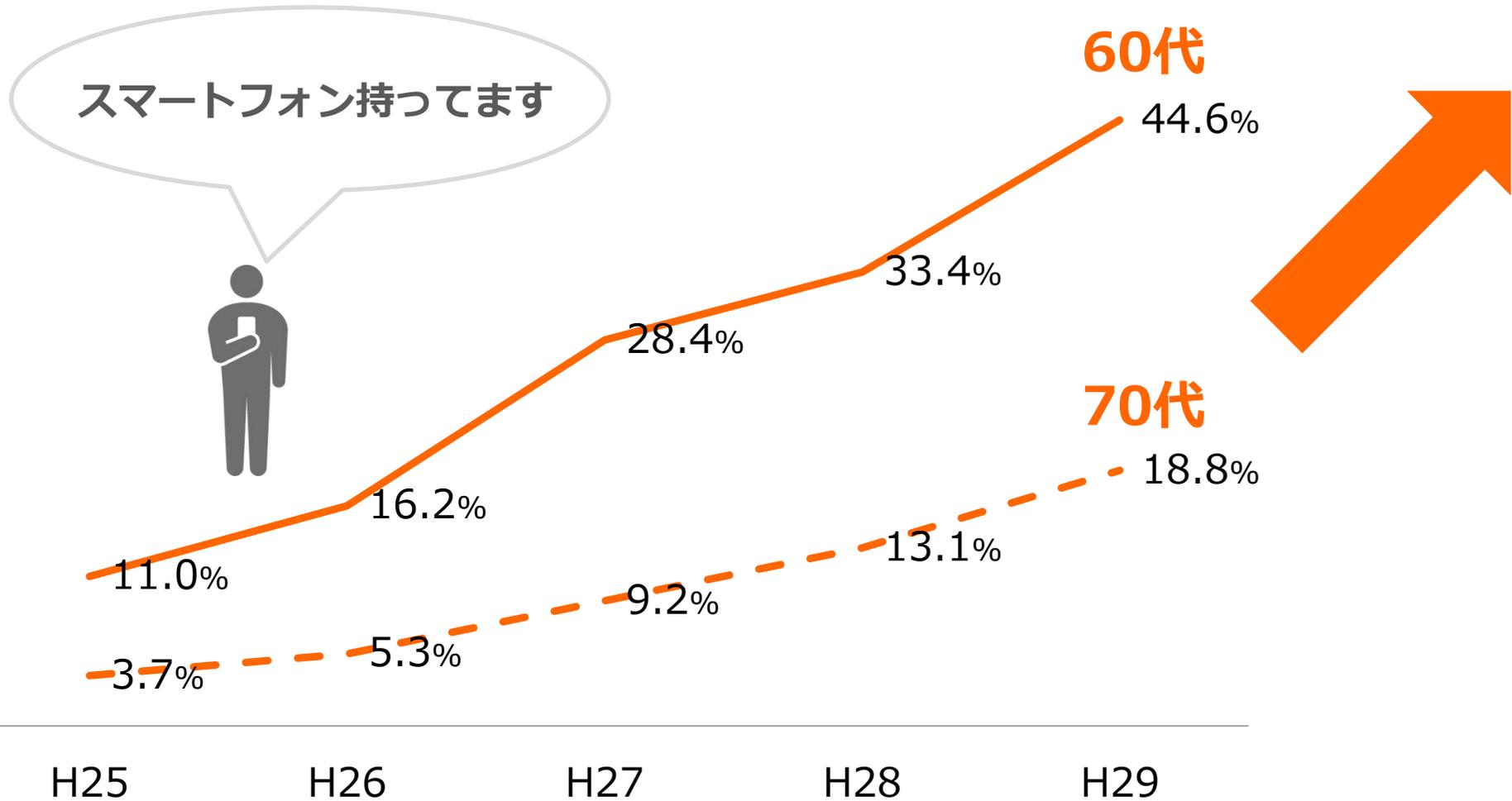


● 放課後の時間帯（14時～18時）に運動する人が多い



● スマートフォンの個人保有率

● 60代では半数に近づいており、急速に普及が進んでいる

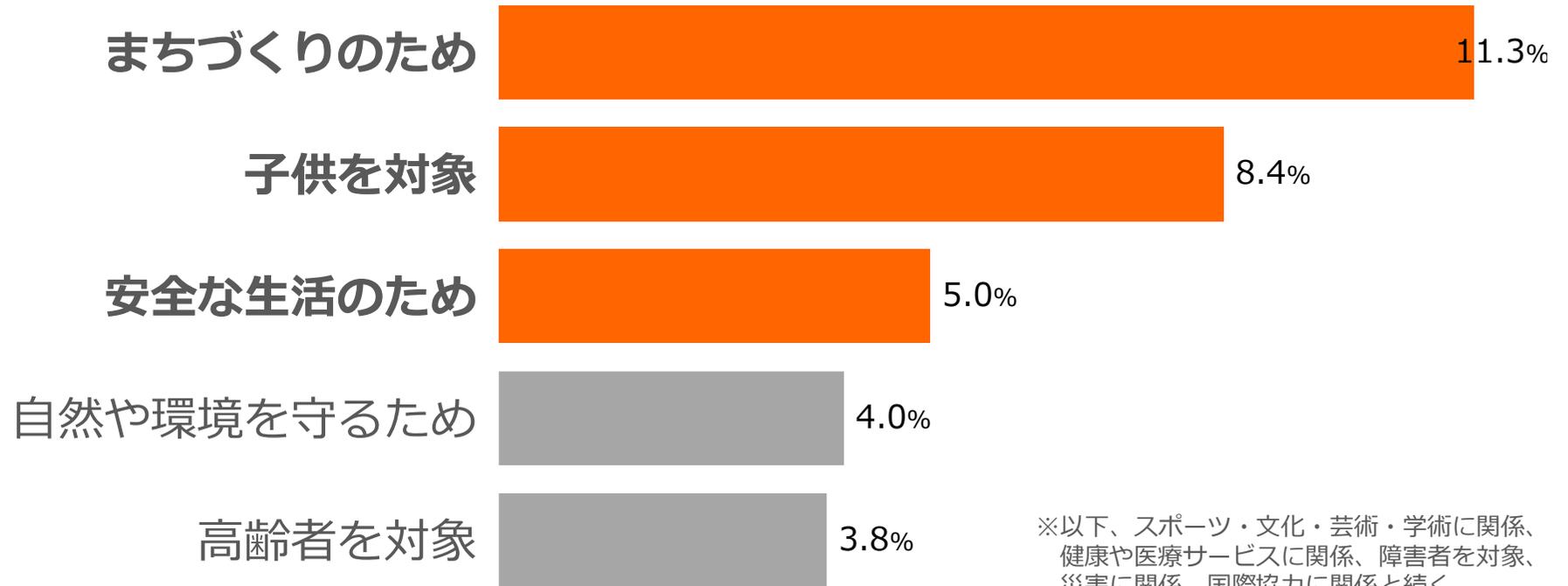


※H29時点で、50代は72.7%、20~40代は90%前後

● 30・40代の女性にフォーカスする理由①

● ボランティア活動の一環として取り組むことができる

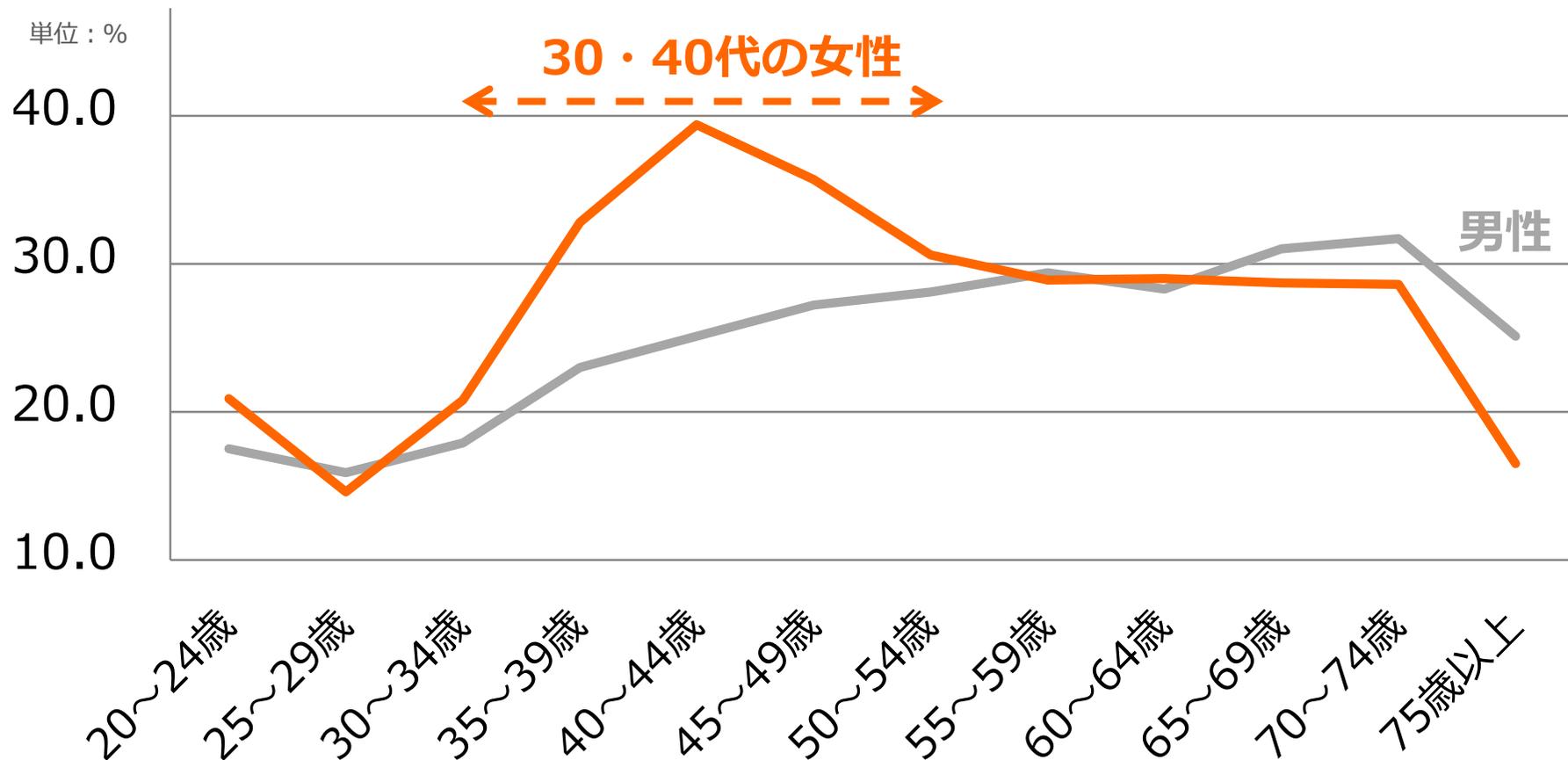
取り組んだ
ボランティア活動の種類
上位5つ



※10歳以上人口に占める過去1年間（H27.10～H28.10）に該当する種類の活動を行った人の割合

● 30・40代の女性にフォーカスする理由②

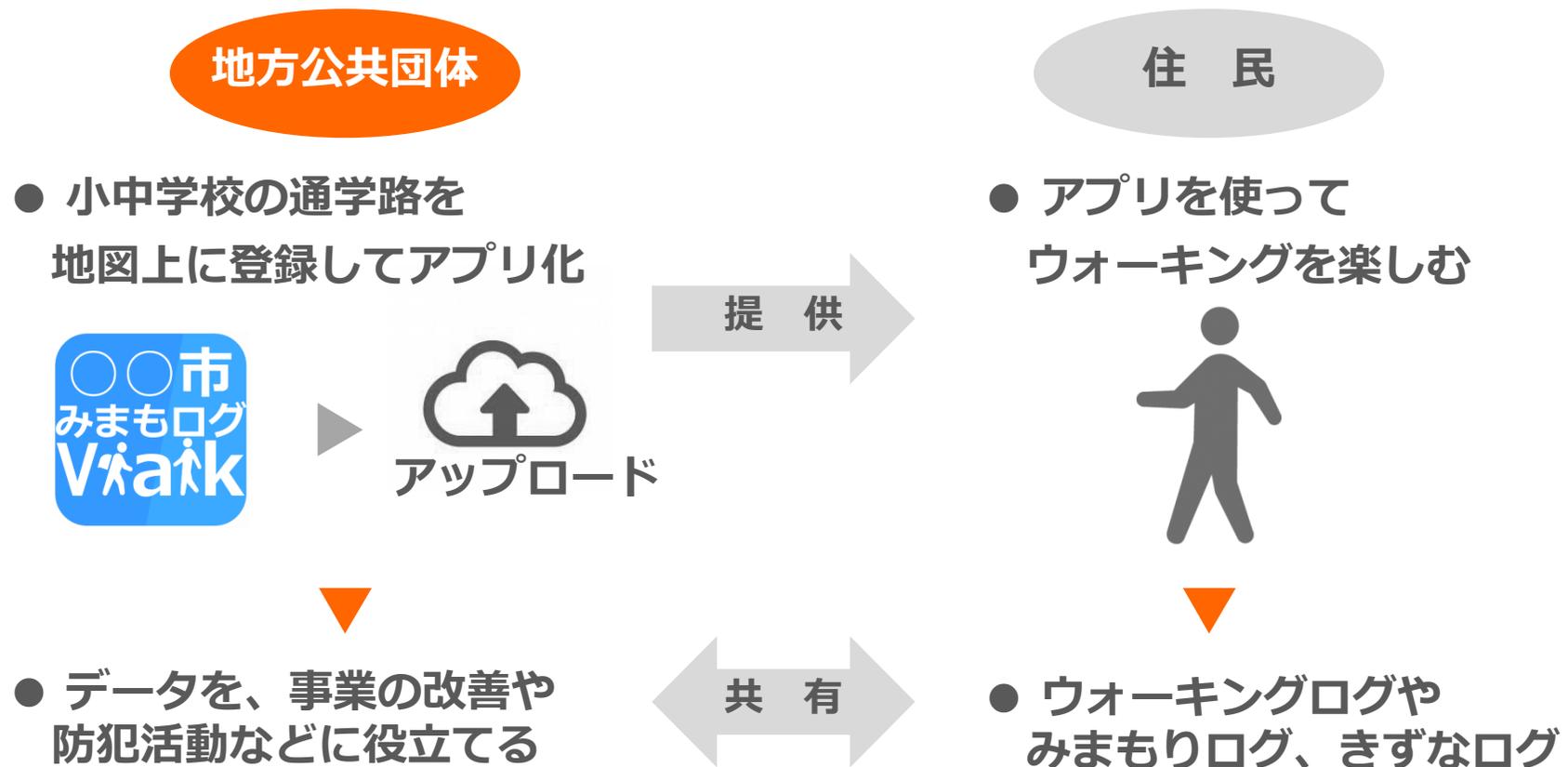
● ボランティア活動(主にPTAなど)に取り組む人の割合が高い



※男女・年齢階級別の過去1年間（H27.10～H28.10）にボランティア活動を行った人の割合

● 地方公共団体の役割

- アプリを完成し、住民に提供するとともに、ユーザーのログを有効活用する

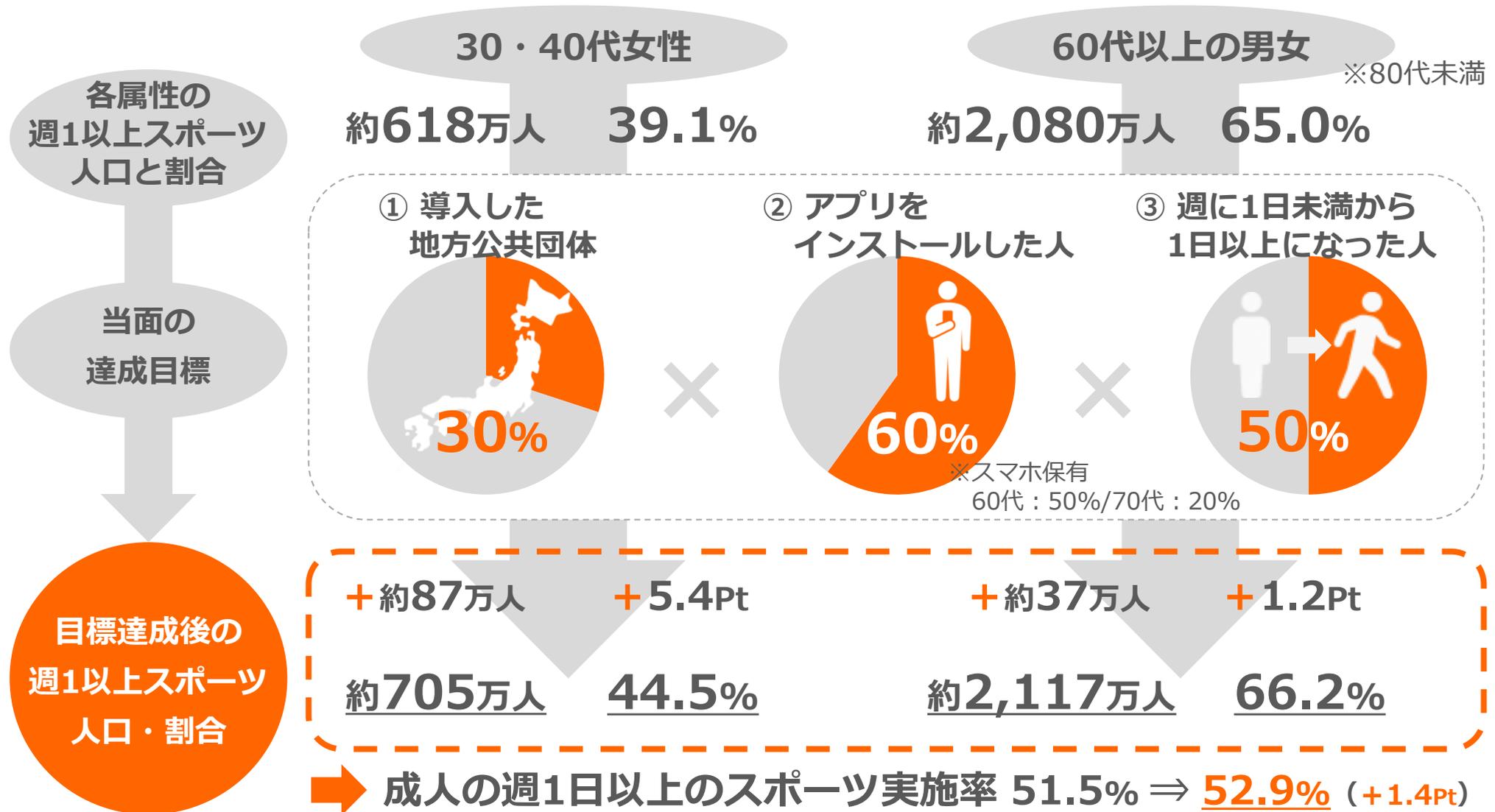


- 多様な切り口
- 様々な課題に、総合的に取り組むことができる



● 効果

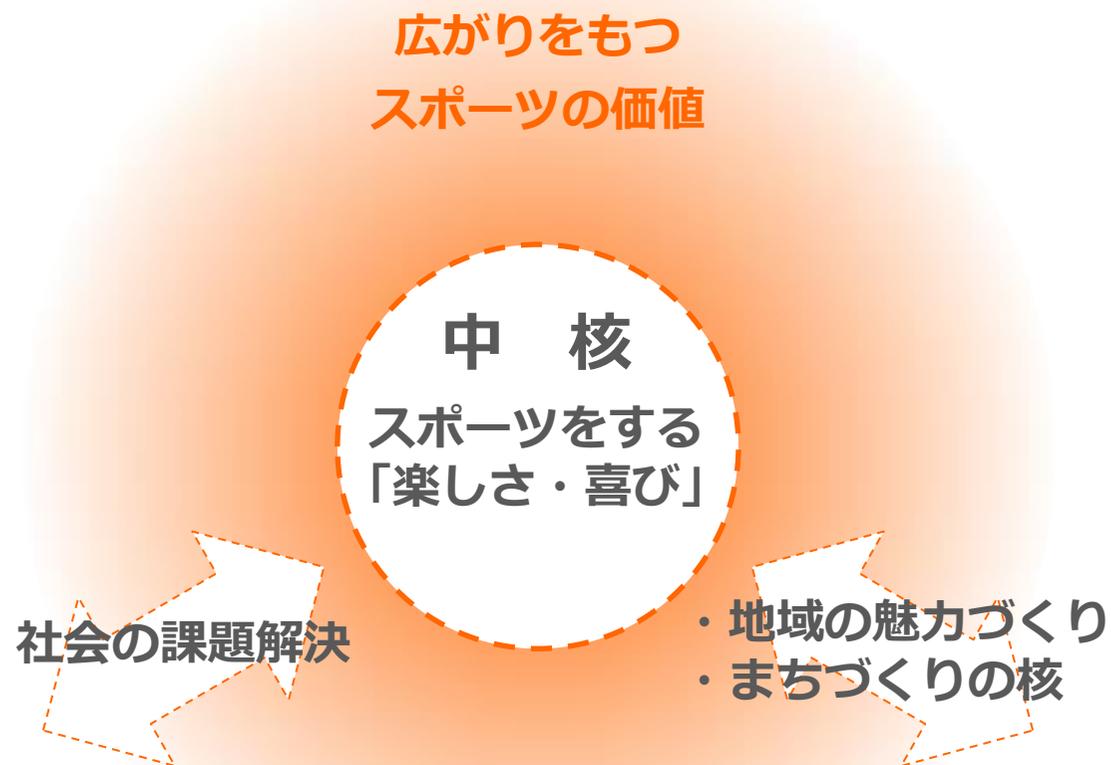
● 着実なスポーツ人口の増加と、実施率の向上 (+1.4Pt) が見込まれる



● まとめ①

Value

- スポーツの価値の中核を磨きながら、多様な価値を高める



● まとめ② Sustainability

- スポーツの習慣化を促すと同時に、社会の持続可能性を高める

個人



スポーツの習慣化

子どもを見るたび思い出す



年間約200日、登下校

社会



持続可能性

みまもログ
Viaik



子ども

成長



おとな

- まとめ③ **Localness**

- 地域の一人一人が、主体性を持って取り組むことができる



- スポーツが変わる。未来を創る。

あなたの “ 歩く ” が、子どもを “ 守る ”